

2012 少年少女サッカーフェスティバル

駒沢オリンピック公園総合運動場の陸上競技場において、10月8日（体育の日）に2012少年少女サッカーフェスティバルを開催しました。

この事業は、公益財団法人東京都サッカー協会との共催によるもので、小学生（1～3年生）及び保護者が所属するサッカーチームによる5人制ミニサッカーの交流大会です。

駒沢陸上競技場はJリーグの試合も行われる天然芝のピッチです。あこがれのJリーガーが戦う同じ場所で、少年少女やママさんチームが、日頃の練習成果を発揮しチームの力を出し切って、一日大いに盛り上がりました。



<開会式>

（公財）東京都サッカー協会高山東京都少年連盟委員長による開会の辞

（公財）東京都スポーツ文化事業団鈴木顧問

（公財）東京都サッカー協会上野会長による主催者挨拶の後、

272 チームによる熱戦の火ぶたが切られました。





あこがれのJリーガーと同じ舞台でのびのびプレー！

当日は、早朝から多くの選手、応援の家族が集まり1日で約9,800人の参加者となりました。交流大会なので、優勝チームが出る大会ではありませんが、各地域でサッカーに熱中している少年少女が、他チームと交流することで、楽しみながら自分自身やチームの力を確認しチームワークの大切さを知ることができました。

また、プロが使用するピッチの上を思う存分走り回ることができ、普段天然芝を使ったことのない子供たちにとっては憧れの交流大会です。

夢中になってプレーする子供たちを観客席で応援する多くの家族も、とても楽しそうで、親子ともに充実した体育の日を過ごしていただけたようです。